

外国語科学習指導案

第5学年2組 令和2年9月16日(水) 第6校時(5年2組教室) 指導者:笠原悠司

研究テーマ

「 考え、かかわり、学びをつなぐ力をもった児童の育成 」
～ 思考を広げ、深める「かかわり」のしかけの工夫(2年次) ～

考え、かかわり、学びをつなぐ授業の創造

- (1) かかわりの目的や、思考の視点の明確化
- (2) 学びをつなぎ、高める指導の工夫(発問、指示、問い返し、学習モデルや条件の提示、スキル)
- (3) 思考を深め、可視化する、効果的な思考ツールや ICT の活用
- (4) 多様なかかわりをつくる学習形態の工夫(個別・ペア・グループ・全体)

<思考を広げ、深めるかかわりのしかけの工夫について>

しかけⅠ ◎かかわりの対象を意図的に選択する。

自己内対話、先哲・資料との対話、他者との対話

しかけⅡ ◎かかわりの目的を明確化する。

情報収集、比較、表現、説明、協議、課題解決、共創、納得解・最適解、合意形成、新視点

しかけⅢ ◎かかわりのためのツールを工夫する。

場の設定、資料提示の工夫、板書・ワークシートの工夫、ICT 活用、話型やモデルの提示等

1. 単元名

Unit 8 “Where is the gym?” (光村図書: Here We Go! 5)

2. 単元の目標

場所をたずねたり、道案内をしたりする受け答えができる。

3. 単元について

<教材観>

本単元では、“Where is ...?”をおもな表現として、場所をたずねたり、道案内をしたりする受け答えができるようになることを目標としている。単元の前半では、on, in, under, by といた前置詞を使って、場所について答える表現を学習する。後半では道案内をするための表現(Go straight for ... block(s). や Turn right. など)を使って実際に道を聞かれたことを想定しながら実践的な学習に取り組んでいくことができる。

なお、単元の基本表現や進出単語・語句などは以下のとおりである。

表現

【Step1】Where is ...? It's on [in / under / by]...

【Step2】Where is ...? Go straight for ... block(s). Turn right [left].

語彙

位置(by, under)、町(bookstore, bus stop, convenience store, department store, fire station, flower shop, gas station, gym, hospital, library, park, police station, post office, restaurant, station, supermarket,

temple)、方向(corner, left, right, straight)、活動(turn)、身の回りのもの(ball, clock, desk)、first, welcome, you're

アニメーションに登場する機能表現

(ア)呼び掛ける Excuse me. (ア)聞き直す Pardon? (イ)礼を言う Thank you.

(ウ)説明する It's on the bench.

一言フレーズ

(ア)呼び掛ける Excuse me.

Response

【Step2】You're welcome.

<児童観>

本研究授業の実施にあたり、本学級の児童に外国語科に関するアンケートをおこなった。その結果をもとに、児童の様子を記載していく。

まず、「外国語科の授業は楽しいですか。」という質問では、70%以上の児童が肯定的な意見であった。ただ、「書くことが難しい。」や「何を言っているのかわからない。」といった理由で否定的な意見を選択した児童も約30%存在する。

次に、「外国語科の授業で苦手なことは何ですか。」という質問では、「話す(発表・やりとり)」に苦手意識をもっている児童が70%以上存在することがわかった。

また、「外国語ができるようになってやってみたいことは何ですか(複数回答可)。」という質問では、約70%の児童が「外国人と会話をする。」を選択していた。

質問:外国語科の授業は楽しいですか。	
楽しい	30.6%
少し楽しい	41.7%
あまり楽しくない	22.2%
楽しくない	5.6%

70%以上の児童が肯定的な意見

質問:外国語科の授業で苦手なことは何ですか。	
聞く	2.8%
話す(発表)	52.8%
話す(やりとり)	22.2%
読む	11.1%
書く	11.1%

70%以上の児童が「話す」ことに苦手意識

質問:外国語ができるようになってやってみたいことは何ですか。	
外国語を使って仕事をする。	13.9%
外国語の歌や映画を聞く。	38.9%
外国人と会話をする。	69.4%
その他	11.1%

約70%の児童が外国人と会話をしてみたい

<指導観>

本教材の指導にあたり、外国語が苦手な児童も意欲的に学習に取り組めることと外国語をコミュニケーションツールとして実際に使うことを想定しながら学習することを重視していきたい。そこで、次のような点に留意して指導していく。

第一に、「たずねてきた相手のことを考えながら案内ルートを選択する」ことである。実際に案内する場面に出くわしたときのことを想定して、相手がわかりやすく行きやすい(説明しやすい)ルートを考えていきたい。

第二に、「道案内の答え方を考えるステップを区切る」ことである。とくに苦手な児童は、いきなり外国語で説明するのは難しいと考えられる。そのため、地図にルートをかき、グループで相談してルートを決定する、カードを並べ替えて表現を考えるなどといったステップをふみながら学習活動に取り組ませていきたい。

4. 研究テーマとの関わり ～思考を広げ、深める「かかわり」のしかけの工夫(2年次)～

(1) かかわりの目的や、思考の視点の明確化

道に迷っている人に道案内をするという目的に向かって、どの表現方法を使い、どういう順番で説明すればよいかを考えさせていく。

(2) 学びをつなぎ、高める指導の工夫(発問、指示、問い返し、学習モデルや条件の提示、スキル)

道案内をするときには、相手のことを考えて、わかりやすく行きやすいルートを考えるように指示する。

(3) 思考を深め、可視化する、効果的な思考ツールや ICT の活用

道案内の地図をスクリーンに投影して、タッチペンで書きこみながらグループの発表を確認する。

(4) 多様なかかわりをつくる学習形態の工夫(個別・ペア・グループ・全)

道案内の言い方を考えるときには、まずは個人で考えて、それをもとにグループで話し合っって言い方を決定していく。また、それを全体で発表する際には、ほかのグループと比較していく。

5. 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞 く	<ul style="list-style-type: none"> ●場所をたずねたり、道案内をしたりするときの表現について理解している。 ●会話を聞き、場所や道順を聞きとる技能を身につけている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●住みやすい町づくりのためにユニバーサルデザインの視点で工夫されていることを理解しようとしている。
話 す (やりとり)	<ul style="list-style-type: none"> ●場所をたずねたり、道案内をしたりするときの表現について理解している。 ●もののありかや道順などを伝え合う技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●もののありかや道順などを簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●もののありかや道順などを簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしようとしている。

読む		●道順を知るために、簡単な語句や表現を読んでいる。	●道順を知るために、簡単な語句や表現を読もうとしている。
書く	●位置などを正しく伝えるために学習した表現をなぞり書きしたり、場所や施設を表す語句を書き写したりする技能を身につけている。		

6. 指導と評価の計画

	時間	学習活動	評価規準
第一次	1	●本単元のトピックや語彙に触れる。	
第二次	2	●ものがどこにあるかをたずねたり答えたりする言い方を知る。 Where is my cup? It's on the bench.	●もののありかを伝え合う技能を身につけている。【知・技】
	3	●ものがどこにあるかをたずね合う。	●もののありかを簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしている。【思・判・表】 ●もののありかを簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしようとしている。【態】
第三次	4	●道をたずねたり答えたりする言い方を知る。 Where is Sakura Gym? Go straight for one block. Turn right at the first corner.	●道順を知るために、簡単な語句や表現を読んでいる。【思・判・表】
	5	●道をたずねたり答えたりする。	●道順を知るために、簡単な語句や表現を読もうとしている。【態】 ●場所をたずねたり、道案内をしたりするときの表現について理解している。【知・技】 ●道順を伝え合う技能を身につけている。【知・技】
第四次	6 (本時)	●道案内の表現を用いた道順の答え方を考える。	●会話を聞き、場所や道順を聞きとる技能を身につけている。【知・技】
	7	●グループで地図を使って道案内する。	●道順を簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしている。
	8	●個人で地図を使って道案内する。	【思・判・表】
	9	●道案内をふりかえる。	●道順を簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしようとし

			<p>ている。【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置などを正しく伝えるために学習した表現をなぞり書きしたり、場所や施設を表す語句を書き写したりする技能を身につけている。【知・技】 ●住みやすい町づくりのためにユニバーサルデザインの視点で工夫されていることを理解しようとしている。【態】
--	--	--	---

7. 本時の目標

- 道案内の表現を用いた道順の案内の仕方を考える。【思・判・表】

8. 本時の展開(6/9)

過程	子どもの意識の連続性	学習活動	教師のはたらきかけ (評価規準・方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・どう言えばよかったかな。 ・島本駅 Shimamoto station ・歴史文化資料館 museum ・水無瀬神宮 Minase shrine ・若山神社 Wakayama shrine ・水無瀬川 Minase river ・緑地公園 Ryokuchi park ・ます釣り場 fishing spot ・サントリー SUNTORY ・図書館 library 	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつをする。 ●ALT が島本町観光をしたいという設定を確認して、本時の課題を確認する。 ●ALT の興味のあるものから、提案できる場所を探す。 ●その場所で何ができるのかを考える。 <p>(例)</p> <p>You can read many books.</p> <p>You can play baseball.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●デモンストレーションを見て、ゴールを確認する。 	<p>【設定】</p> <p>ALT が島本町のおすすめスポットに行きたいがどこへ行けばよいかわからない。興味のあるものは以下の5点。 電車、歴史、自然、食べ物(魚と酒)、本</p>

		島本町を案内する言い方を考えよう。	
	Go straight for ... block(s). Turn right [left] at the first [second ...] corner.	●道案内で使う表現を復習する。	
展開	<p>・どう行けばわかりやすいかな。</p> <p>・このほうが行きやすいかな。</p> <p>・どの言い方がいいかな。</p>	<p>●班でひとつの目的地を決定する。</p> <p>●島本町の地図を見て、二小から目的地へ英語で道案内をする言い方を考える。</p> <p>【道案内発表のルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を思いやったルートを選択すること(行きやすい、道中で別の目的地も紹介できるなど)。 ・必ず1人1回は発言すること。 <p>【手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1人ずつ地図にルートを書き込む。 ②班でルートを決定する。 ③個人で言い方を考える。 ④班でカードを並べ替えながら言い方を考える。 ⑤班で発表の練習・分担をする。 <p>●できた班があれば、いくつかの班が一度前でやってみる。</p>	<p>●道順を簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしている。【思・判・表】</p> <p>●実際に道案内をするときのことを考えて、相手に伝わりやすいように心がけるように伝える。</p>
まとめ		<p>●ふりかえりシートを記入する。</p> <p>●あいさつをする。</p>	<p>●道順を簡単な語句や基本的な表現を用いてたずねたり、答えたりしようとしている。【態】</p>

9. 板書計画

スクリーン	Today's Goal 島本町を案内する言い方を考えよう。	Wednesday September 16th Sunny
	案内する場所(9か所)	